週間情報

№2838
発行日　平成28年10月4日
発行所　全国消防長会
　　一般財団法人全国消防協会
担　当　企画部企画課　電話 03(3234)1321

両 会 の 動 き

◆　事務局職員の人事異動

全国消防長会

平成２８年１０月期の本会事務局職員の人事異動について、下記のとおりお知らせします。

記

１　平成２８年９月３０日付異動

⑴　退職（１名）

小田桐　芳昭　（参事兼総務部財務課長事務取扱）

⑵　帰任（３名）

鈴木　真也	東京消防庁へ	（総務部総務課長兼国際業務課長）
木村　充伸	東京消防庁へ	（事業部事業企画課財政担当係長）
岡田　直樹	東京消防庁へ	（総務部総務課総務第一係主任）

２　平成２８年１０月１日付異動

⑴　採用（１名）

遠山　秀人　参事兼総務部財務課長事務取扱

⑵　着任（３名）

中島　嗣郎	総務部総務課長兼国際業務課長	（東京消防庁から）
畑澤　学	事業部事業企画課財政担当係長	（東京消防庁から）
平岡　隆司	総務部総務課総務第一係主任	（東京消防庁から）

◆　事務局職員の人事異動

一般財団法人全国消防協会

平成２８年１０月期の本会事務局職員の人事異動について、下記のとおりお知らせします。

記

１　平成２８年９月３０日付異動

退職

小田桐　芳昭　（総務部長兼財務課長事務取扱）

２　平成２８年１０月１日付異動

採用

遠山 秀人　総務部長兼財務課長事務取扱

消防本部の動き

行　　事

◆　防火・防災パレードを実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、平成２８年９月１日（木)、防災の日における活動の一環として、観光客で賑わう平和通り商店街において、防災意識の向上と消防活動への理解を深めてもらうことを目的に、防火・防災パトロールを実施しました。

パトロールでは、当市消防局の広報キャラクター「はりゅうくん」を先頭に、市役所職員、商店街連絡会関係者、各通り会役員、那覇警察署職員に続き、救急車、ポンプ車を実際に追行しながら沖縄方言（ウチナーグチ）での広報活動やパンフレットの配布を行い、防火・防災意識の普及啓発を行うことができました。

当市消防局では今後も関係部局と連携を図りながら、「災害に強いまちづくり」への取り組みを継続的に実施して参ります。

【防火パレードの様子】

◆　救急フェア２０１６を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、平成２８年９月１１日（日)、イオン具志川ショッピングセンターにおいて救急フェア２０１６を開催しました。

式典では、消防協力者表彰及びご当地ヒーロー「鳳神（おうじん）カナミー」への一日救急隊長委嘱状の交付が行われました。

イベントでは、「鳳神カナミー」が当市まちキャラ「うるうらら」のエスコートで、救急車の適正利用等の普及啓発活動を行うとともに、各関係機関のパネル展示や市民健康相談及び応急手当の体験コーナー、屋外ではドクターヘリ及びドクターカーの展示等が行われました。

当日は天候にも恵まれ多くの家族連れが来場し、救急業務への関心の高さが確認できました。

所期の重点目標としていました「救急車の適正利用の普及啓発」・「応急手当の普及啓発」を達成し、盛況に終えることができました。

【フェアの様子】

◆　かわさきレスキューフェアを開催　～川崎市消防救助隊発足５０周年～

川崎市消防局（神奈川）

川崎市消防局では、平成２８年９月２４日（土）、川崎駅東口のルフロン広場において、救助隊の活動などを広く多くの市民に知って、親しんでもらうために「かわさきレスキューフェア」を開催しました。

当日は、救助工作車・特別高度工作車（ブロワー車）の展示や消防ヘリコプターのデモ飛行、救助隊員による降下訓練展示、救助体験、音楽隊の演奏、救急車の適正利用・火災予防と消防団員募集について広報活動を行いました。午後から雨が降る天候にもかかわらず、大勢の市民の方に足を運んで頂きました。

【消防音楽隊による演奏の様子】

【引き揚げ救助体験の様子】

訓練・演習

◆　滋賀県建設業協会湖南支部と連携訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、平成２８年９月８日（木）、滋賀県栗東市内の土砂採石場において、「局所災害時の消防活動支援に関する協定」を締結している滋賀県建設業協会湖南支部と土砂災害を想定した訓練を実施しました。

訓練では、大型重機を所有する建設業協会が瓦礫の除去や閉ざされた道路の啓開や大型土嚢を活用した二次災害防止対策を担い、消防が建物の下敷きになった要救助者を救出するなど、それぞれの特徴や保有する資機材等を有効に活用し、連携のとれた救出活動を展開しました。

今後も訓練を継続し、更なる連携強化に努めます。

【訓練の様子】

研　修　等

◆ 防火体操を取り入れた防火教室を開催

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部（秋田）

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部では、平成２８年８月２６日（金)、「防火体操」を取り入れた防火教室を開催しました。

角館消防署西木分署が管轄する保育園の防火教室で、住宅防火対策推進協議会により企画・制作された「消太くんと防火体操をしよう！」を園児たちと一緒に行いました。園児たちは、体操を通して火事の熱や煙から身を守り、安全に避難する方法を楽しく学びました。園児からは「体操は少しむずかしかったけど、楽しかった。」と好評でした。

今後も幼稚園、保育園の避難訓練や防火教室に防火体操を取り入れ、幼少期から防火思想を高めていきたいと思います。

【防火教室での防火体操の様子】

【練習の様子】

◆　新生児蘇生法研修会を実施

高山市消防本部（岐阜）

高山市消防本部では、平成２８年９月１４日（水)、救急医療週間の行事の一環として「救急隊に求められる２０１５年版 NCPR の考え方と極意」と題した研修会を岐阜県総合医療センター新生児内科医長の寺澤大祐氏を講師に招き、新生児蘇生法研修会を実施しました。

研修会では、「出生とは“一生で、最も危険な瞬間”」というキーワードから救急隊は次のように短時間で多くの観察や処置を行う必要があり、それに至る考え方や手技を学びました。

・出生から６０秒以内で行う観察と処置
・蘇生の初期処置についての具体論
・適切な換気の判断や適切なサイズの BVM 用のマスクが無い場合の対応
・SPO2 を右手に装着する理由や正しい SPO2 を測定するコツ
・呼吸異常の原因を見極めるポイント

また、この日は国内では数少ない７００グラムの新生児人形がお披露目され、実際に処置等の体験もさせて頂きとても貴重な経験を積むことができました。

【研修会の様子】

◆　浦安市少年消防団宿泊研修を実施

浦安市消防本部（千葉）

浦安市消防本部では、平成２８年９月１８日（日）・１９日（月・祝）、浦安市青少年交流活動センター「うら・らめ～る」において、浦安市少年消防団宿泊研修を実施しました。

宿泊研修では、震災時に自分たちが取るべき行動や避難所生活での課題を考えるとともに、東日本大震災で液状化の被害を受けた当市の復旧復興の現状や震災対策などについて学ぶことを目的として実施しました。

当日は、震災時の映像や消防団員（少年消防団指導員）が実際に行っていた活動を直接聞きながら、事前に調べて来た防災対策などを団員間で話し合い防災についての壁新聞を作成しました。

二日目には、市長や教育長を招き、作成した壁新聞の発表会を行いました。

【研修会の様子】

◆　平成２８年度消防技術安全所検証・研究成果発表会を開催

東京消防庁（東京）

東京消防庁消防技術安全所では、平成２８年９月１６日（金）、東京消防庁消防学校において平成２８年度消防技術安全所検証・研究成果発表会を開催しました。

消防に係る最新の課題をテーマとした検証・研究成果について、消防技術安全所員から４テーマの発表及び６テーマのポスターセッションを行うとともに、平成２７年度消防機器等考案優秀作品の展示を実施したほか、相模原市消防局の今村智氏による「太陽電池モジュールの配線から出火した火災」と題したゲスト発表が行われました。また、独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所の三浦崇氏よる「統計でみる年齢と労働災害との関係」と題した特別講演が行われました。

会場には、全国から約４０の消防本部、企業や大学研究機関など多数の方々が聴講に訪れ、災害の第一線で活動している現場の声や提案等が多数寄せられ、検証・研究に関する意見交換が積極的に行われるなど、盛況で有意義な場となりました。

なお、消防技術安全所員が発表した検証・研究の詳細は、消防技術安全所ホームページ上（http://www.tfd.metro.tokyo.jp/tfd/hp-gijyutuka/index.html）の「消防技術安全所報５３号」に掲載する予定（１０月中旬）ですので、参考にしてください。

【発表の様子】

【ポスターセッション等の様子】

そ　の　他

◆　消防本部の住所変更等について

○　３２２２８　御前崎市消防本部（静岡）

新郵便番号　437-1612
新住所　御前崎市池新田 5151 番地の 1
新電話番号　0537-85-2655
新 FAX 番号　0537-85-2658
※変更理由　新庁舎に移転のため
平成２８年１０月３日から運用開始

国等の動き

通　知　等

◆　消防職員の厳正な服務規律の確保の徹底について（９月２６日、消防消第１８５号）

消防・救急課長より、各都道府県消防防災主管部（局）長あてに次のとおり通知されましたのでお知らせします。

消防職員にあっては、その職務の適正な遂行のため、厳格な服務規律の確保、法令の遵守が求められており、各地方公共団体におかれては、消防職員の服務規律の確保に日々努められていることと承知しているところです。

しかしながら、今般、別添（省略）報道資料のように、千葉県消防学校の教官による複数の暴力行為（体罰）が確認されました。

暴力行為は相手の尊厳や人格を侵害する断じて許されない行為であり、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、このような行為が行われることは、決してあってはならないものです。

また、こうした事案の発生は、職場環境を悪化させたり、周囲の職員の士気を低下させるなどの弊害を起こすとともに、消防行政及び消防職員全体に対する国民・住民の信頼を著しく損ねるものです。

暴力行為を含むパワーハラスメントを根絶するためには、まずは幹部職員がパワーハラスメントになり得る言動等についての理解を深め、良好な職場環境の確保に努めるとともに、職員に対しても、研修等によりあらためて周知を図ることが必要です。厚生労働省等作成の資料の URL を添付しますので、貴職におかれては、これらを参考にして、各消防学校において改めて消防職員の厳正な服務規律の確保を徹底するようお願いします。

加えて、貴都道府県内の市町村（消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。）に対し、重ねて各消防本部における服務規律の確保について周知していただくようお願いします。

なお、本通知は、消防組織法（昭和22年法律第226号）第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

《参考資料》
厚生労働省作成「パワーハラスメント対策導入マニュアル（第２版）」
ＵＲＬ　https://www.no-pawahara.mhlw.go.jp/jinji/download/
人事院作成「パワー・ハラスメント防止ハンドブック」※国家公務員向け
ＵＲＬ　http://www.jinji.go.jp/sekuhara/handbook.pdf

○　全文は、消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2809/pdf/280926_syou185.pdf）に掲載されています。

◆　消防職員の厳正な服務規律の確保の徹底について（９月２６日、事務連絡）

消防・救急課長より、各消防学校長あてに事務連絡されましたのでお知らせします。

消防職員にあっては、その職務の適正な遂行のため、厳格な服務規律の確保、法令の遵守が求められており、各消防学校におかれては、消防職員の服務規律の確保に日々努められていることと承知しているところです。（以下省略）

○　全文は、消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/concern/law/tuchi2809/pdf/280926_jimurenraku.pdf）に掲載されています。

報道発表

◆　平成２８年１月～３月の製品火災に関する調査結果（９月２７日、消防庁）

消防庁では、消費者の安心・安全を確保するため、火災を起こす危険な製品の流通防止を目的として、平成２８年１月～３月に発生した自動車等、電気用品及び燃焼機器に係る火災のうち、６月３０日までに消防機関から調査結果の報告があったものについて、発生件数や「製品の不具合により発生したと判断された火災」の製品情報等を取りまとめました。（詳細は別添１（省略）参照）（以下省略）

○　全文は、消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/09/280927_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
予防課
担当：恵﨑、齋藤、土肥

◆　平成２８年度消防防災科学技術賞受賞作品の決定（９月２７日、消防庁）

この度、平成２８年度「消防防災科学技術賞」の受賞作品を決定しました。

本表彰制度は、消防防災機器等の優れた開発・改良、消防防災科学に関する優れた論文の執筆、原因調査に関する優れた事例報告を実施した団体及び個人を消防庁長官が表彰するもので、消防科学技術の高度化と消防防災活動の活性化に資することを目的として、平成９年度から実施しています。

平成２８年度においては、全国の消防機関、消防団、消防機器メーカー等から総計８７編（機器等の開発・改良４５編、科学論文１５編、原因調査事例報告２７編）の応募があり、選考委員会（委員長 亀井浅道 元横浜国立大学特任教授）による厳正な審査の結果、別添（省略）の２３編を受賞作品として決定しました。

表彰式は、第６４回全国消防技術者会議（消防研究センター主催）の中で、下記（省略）の日時・会場にて執り行います。また、この会議において受賞者による、作品の口頭または展示による発表が行われます。

○　全文は、消防庁ホームページ
（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/09/280927_houdou_2.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
消防研究センター研究企画室
担当：細川、渡邉

◆　「平成２９年度危険物安全週間推進標語」及び「平成２８年度危険物事故防止対策論文」の募集（１０月３日、消防庁）

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「平成29年度危険物安全週間推進標語」及び「平成28年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

消防庁では、危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図り、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を推進するため、「平成29年度危険物安全週間推進標語」及び「平成28年度危険物事故防止対策論文」を募集します。

１　平成29年度危険物安全週間推進標語

消防庁では、毎年６月の第２週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しています。この「危険物安全週間」を推進し、危険物の保安に対する意識の高揚を図るため、「危険物安全週間推進標語」を募集します。

募集期間　　平成28年10月３日（月）～平成28年12月12 日（月）
募集要項　　どなたでも応募できます。詳細は別添１（省略）を御覧ください。
表　　彰　　入賞者には、賞状及び副賞又は記念品を授与します。
　　最優秀作は危険物安全週間推進ポスター等に活用する予定です。平成29年度のポスターモデルは、体操選手の白井健三さんを予定しています。

２　平成28年度危険物事故防止対策論文

近年、危険物施設における事故発生件数は高止まりの状況であり、危険物関係団体・業界や消防関係行政機関では、事故の発生防止に積極的に取り組んでいます。

こういった危険物の事故防止対策を推進するため「危険物事故防止対策論文」を広く募集します。

募集期間　　平成28年10月３日（月）～平成29年１月31日（火）
募集要項　　どなたでも応募できます。詳細は別添２（省略）を御覧ください。
表　　彰　　入賞者には、賞状及び副賞を授与します。

※　危険物安全週間推進標語及び危険物事故防止対策論文各賞の表彰式は、危険物安全週間中に東京で開催される危険物安全大会において行います。

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/10/281003_houdou_1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
危険物保安室
担当：久芳係長、髙野事務官

情報提供

◆　平成２８年度危険物事故防止対策論文募集

消防庁・危険物保安技術協会

危険物を取り扱う事業所や消防機関・行政機関等で取り組まれている事故防止や安全対策の活動などについて広く論文を募集します。積極的なご応募をお待ちしております。

１　論文の内容

危険物に係る事故防止や安全対策に関するもので、次のようなもの

①提言、アイデア、経験等	②職場等の安全対策
③事故の拡大防止	④事故防止に係わる知見の蓄積・教育方法
⑤事故の分析	⑥安全対策技術
⑦危険性評価手法	⑧危険物、少量危険物及び指定可燃物に係わる安全
⑨安全の科学技術	⑩事故防止対策・安全対策に関するその他のもの

２　応募資格　　特に制限はありません。どなたでも応募できます。

３　募集締切　　平成２９年１月３１日（火）必着

４　選考方法

学識経験者、関係行政機関の職員等による審査委員会において、厳正な審査を行います。

５　賞

消防庁長官賞	賞状及び副賞（２０万円）	＜２編以内＞
危険物保安技術協会理事長賞	賞状及び副賞（１０万円）	＜２編以内＞
奨励賞	賞状及び副賞　（２万円）	＜若 干 名＞

※ 副賞は危険物保安技術協会からお渡しいたします。

受賞の表彰式は、危険物安全週間（平成２９年６月の第２週）中に開催される、危険物安全大会で行います。

６　応募方法

ア　論文は、日本語で書かれたもので未発表のものに限ります。ただし、限られた団体、組織内等で発表された場合は応募可能とします。(一部に限り、既発表の部分を使用する場合は、その旨を本文中に明記してください。）受賞論文は、危険物保安技術協会の機関誌とホームページに発表されますので、必要に応じて関係者の事前の了解を取ることをお願いします。また、著作権等の問題を生じないようご留意ください。

イ　Ａ４(字数換算：1ページあたり40字×40行程度）１枚以上１０枚以内程度としてください。なお、 図表及び写真は、文中への挿入、本文と別に添付のいずれも可能です。ただし、本文と別に添付する場合に、字数換算をＡ４（１ページあたり1,600字程度）で行い、全体を１０枚相当分以内程度としてください。

ウ　論文の概要を添付してください。

エ　論文は、「論文タイトル」、「氏名（ふりがな）」、「連絡先（住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）」及び受賞論文発表時に明記する勤務先等がある場合の「勤務先名称及び所属」を記載した用紙を添付のうえ次のあて先（E-mail可）までお送りください。

オ　共同で取り組んでいる活動の場合には、連名の応募も可とします。

カ　論文は、返却いたしません。

７　あて先及び問い合わせ先

危険物保安技術協会　事故防止調査研修センター
〒105-0001　東京都港区虎ノ門四丁目３番１３号　ヒューリック神谷町ビル
Tel 03-3436-2356　　Fax 03-3436-2251　http://www.khk-syoubou.or.jp/

協賛　全国消防長会、一般社団法人日本化学工業協会、石油化学工業協会、石油連盟
電気事業連合会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本損害保険協会
公益社団法人日本火災学会、全国石油商業組合連合会　（順不同）

◆　平成２９年度全国統一防火標語の募集（９月２６日、消防庁）

消防庁では、家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図ることを目的として、（一社）日本損害保険協会との共催で、平成 29 年度全国統一防火標語の募集を下記のとおり行います。

1	応募方法	ＷＥＢ
2	締 切 り	平成 28 年 11 月 30 日（水）
3	発　　表	平成 29 年３月下旬
4	問い合わせ先	（一社）日本損害保険協会 生活サービス部 防災・安全グループ TEL（03)3255-1294
5	そ の 他	応募に関する詳細については、別添（省略）をご参照ください。

○　全文は、消防庁ホームページ（http://www.fdma.go.jp/info/2016/20160926-1.pdf）に掲載されています。

【問い合わせ先】
予防課予防係
担当：齋藤係長、土肥事務官

※　消防庁各課室の直通電話番号は（http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。
週間情報への投稿は企画課へ！
TEL　03-3234-1321　FAX 03-3234-1847　E-mail ： weekly@fcaj.gr.jp